

事務事業評価表(既存事業)

コード 5-3-7	事務事業名 消防ポンプ車購入事業	所管部課 環境防災部防災課
--------------	---------------------	------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 消防ポンプ車は、市民の生命・財産を守るため、地域防災の担い手として活動している消防団が行う消火活動に迅速かつ的確に対応するため、購入時より14年で買い替えをしている。	総合計画上の位置づけ (政策)災害に強いまちづくり (施策)消防施設の整備 (主要施策)消防ポンプ車の購入
	実施内容、実施方法 12箇所の分団詰所及び本部に消防ポンプ車を配置し、購入後14年目で各々買い換える。	根拠法令等
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 ポンプ車購入台数	活動指標の考え方(定義) ポンプ車の買い替え台数
	成果指標名 市が所有するポンプ車の数	成果指標の考え方(定義) 12箇所の詰所及び本部で所有するポンプ車の数

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		0	21,945	4,620	0	
	国庫支出金			7,314	2,310		
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		0	14,631	2,310	0	
	所要人員(B)	人		0.10	0.10		
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	827	833	0	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	22,772	5,453	0	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(ポンプ車購入台数)	千円			5,453		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	台			1	0
		実績値	台			1	
	活動指標	目標値					
実績値							
成果指標	目標値	台			13	13	
	実績値	台			13		
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等 における類似事業	各市同様である。
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 5-3-7	事務事業名 消防ポンプ車購入事業	所管部課 環境防災部防災課
--------------	---------------------	------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	買い替えによって、消火活動が迅速に対応することができる。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	火災時には、消火活動を迅速に行い、初期消火に努めている。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	適正に配置している。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	各地域に対応している。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	今後も、買い替えが必要である。

17年度における改善点	特になし。
-------------	-------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。